

シンポジウム

人口減少社会 と 文化遺産 の 未来

過疎化・少子高齢化の進行により、**地域の衰退・無住化**という現実があります。
多くの集落が担い手不足により豊かな**伝統や文化の消滅**という危機に瀕し、
史跡の保存・活用に必要なパワーの維持も困難になりつつあります。
このような厳しい状況下において、**文化遺産の確実な継承**に向け、
これからの時代にふさわしい**保存と活用の在り方**が検討されつつあります。
本シンポジウムでは、愛媛県における**人口減少(人口減少社会)の動態と**
有形・無形文化財の分布とを重ね合わせることで、
人口減少下にある/予測される地域に存する**文化遺産を抽出し、**
地域社会と文化遺産との疎遠化の問題や、
将来の文化財保護・整備・活用に対する方策を探ります。

2023年

2/23

祝
木

13:00
16:00

場所

愛媛大学総合情報メディアセンター
メディアホール

定員

70名

参加
無料

プログラム

司会 村上恭通(愛媛大学アジア古代産業考古学研究中心長・教授)

- 開会挨拶 若林良和(愛媛大学社会連携推進機構・機構長 理事・副学長)
主旨説明 村上恭通(愛媛大学アジア古代産業考古学研究中心長・教授)
基調講演 報告 「過疎化と埋蔵文化財」近江俊秀(文化庁文化財部記念物課主任調査官)
「消える集落と消える文化ー四国4県の集落調査からー」渡邊敬逸(愛媛大学地域協働センター西条兼任・社会共創学部 准教授)
「地域の危機と無形民俗文化財の継承ー愛媛県内の祭り・行事を事例にー」大本敬久(愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員)
「人口減少時代の文化継承の在り方ー内子町におけるパブリックヒストリーの実践ー」井口 梓(愛媛大学地域共創研究センター副センター長・社会共創学部 准教授)
閉会挨拶 寺谷亮司(愛媛大学地域共創研究センター長・社会共創学部 教授)

申し込み

参加登録フォーム
(右記QRコード)



問い合わせ先

愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室
MAIL: chiki@stu.ehime-u.ac.jp TEL: 089-927-8512

締め切り

2023年2月16日(木)17:00

主催

愛媛大学社会連携推進機構・地域共創研究センター
愛媛大学先端研究・学術推進機構アジア古代産業考古学研究中心

※本シンポジウムは、
日本学術振興会科学
研究費助成事業・
挑戦的研究(萌芽)
を使用いたします。